



サーベイランス委員会

発表日 2023年2月18日
発表者 サーベイランス委員会
委員 木村 みさか



サーベイランス委員会設置の経緯

2006年 取組宣言
SC推進協議会設置

2007年～2010年
外傷データの収集やアンケート調査の実施

課題

データ分析に基づく取組への
フィードバックが不十分

「セーフコミュニティの指標4、5、6」をカバーする組織

2011年 サーベイランス委員会設立

サーベイランス委員会の位置付け

推進協議会

サーベイランス委員会

対策委員会

乳幼児

交通

高齢者

防犯

スポーツ

防災

自殺

推進本部

日本セーフコミュニティ推進機構(JISC)

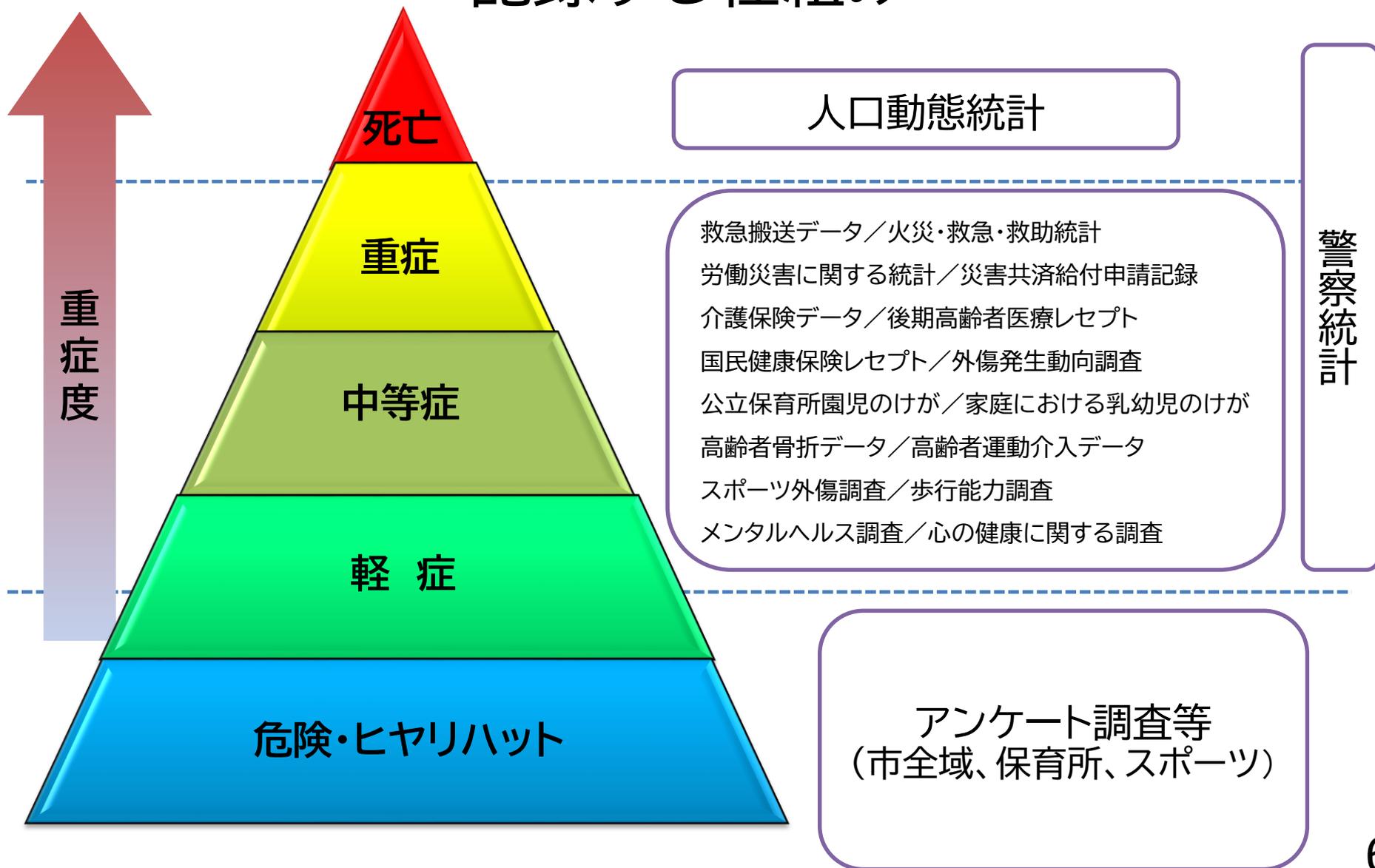
サーバイランス委員会の構成

| | 所属団体 | 役職 |
|---|--------------------------------|------|
| 1 | 京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 | 委員長 |
| 2 | 京都府南丹保健所 所長 | 副委員長 |
| 3 | 京都府立医科大学名誉教授・京都先端科学大学 客員研究員 | |
| 4 | 立命館大学 産業社会学部 教授 | |
| 5 | 亀岡市医師会 | |
| 6 | 社会福祉法人倣襄会 理事長 | |
| 7 | 亀岡警察署 生活安全課長 | |
| 8 | 亀岡消防署 警防課長 | |
| 9 | 亀岡市総務部長 | |

サーベイランス委員会の役割

- ① 外傷発生状況等に関するデータ収集・分析
- ② SCの方向性決定に必要な情報提供
→重点領域(対策委員会)の設置
- ③ SCプログラムに係る根拠データの情報提供
及び評価指標の提案
- ④ 取り組みの効果検証、改善提案

外傷の発生頻度と原因を継続的に記録する仕組み



SCサーベイランスを構成する主なデータ①

| データ | 対象 | 担当委員会 | 関係機関 | 頻度 |
|-------------------|--------------|---------------|------------------|-----|
| 人口動態統計 | 全住民 | 全対象 | 国・京都府 | 毎年 |
| 厚生労働省データ | 全住民 | 全対象 | 国 | 毎年 |
| 国勢調査 | 全住民 | 全対象 | 国 | 5年毎 |
| 警察統計 | 全住民 | 交通安全 防犯、自殺 | 亀岡警察署 | 毎年 |
| 救急搬送データ | 全住民 | 全対象 | 亀岡消防署 | 毎年 |
| 介護保険データ | 全住民 | 高齢者の安全 | 亀岡市 (高齢福祉課) | 毎年 |
| 国民健康保険 レセプトデータ | 全住民 | 高齢者の安全 | 亀岡市 (保険医療課) | 毎年 |
| スポーツ外傷調査 | スポーツ 少年団員 | スポーツ | 亀岡市 (生涯スポーツ課) | 3年毎 |

SCサーベイランスを構成する主なデータ②

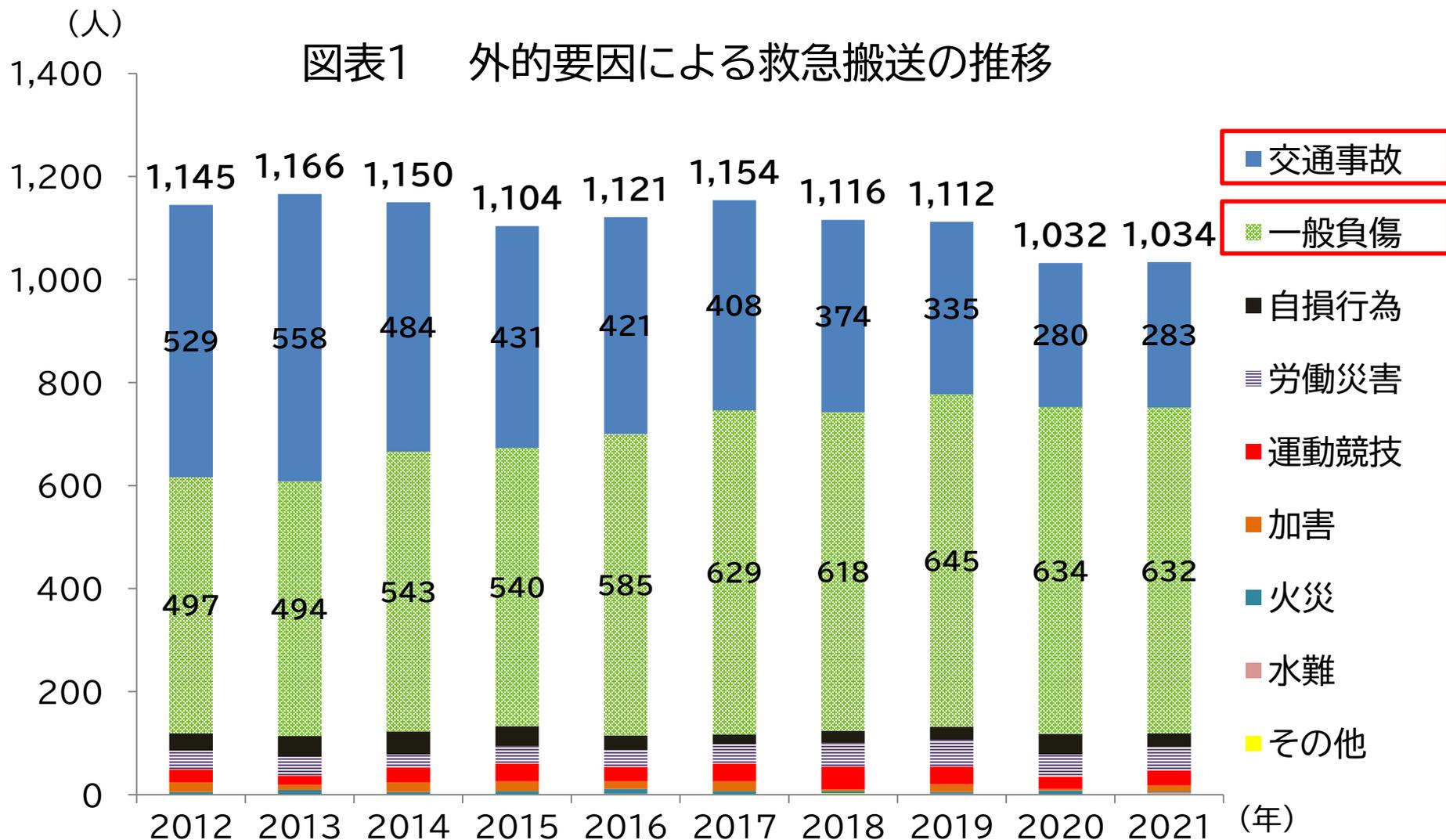
| データ | 対象 | 担当委員会 | 関係機関 | 頻度 |
|-----------------------|--------------|-------|--------------------|-----|
| 学校保健データ | 小・中学生 | スポーツ | 亀岡市 (教育委員会) | 毎年 |
| 公立保育所 保育士アンケート調査 | 園児 | 乳幼児 | 亀岡市 (保育課) | 毎年 |
| 公立保育所園児 外傷データ | 公立 保育所 | 乳幼児 | 亀岡市 (保育課、公立保育所) | 毎年 |
| スポーツ少年団 指導者アンケート調査 | スポーツの 指導者 | スポーツ | 亀岡市 (生涯スポーツ課) | 3年毎 |
| 家庭内の事故予防調査 アンケート | 乳幼児 保護者 | 乳幼児 | 亀岡市 (保健センター) | 毎年 |
| SCアンケート調査 | 全住民 | 全対象 | 亀岡市 (自治防災課) | 随時 |

救急搬送データによる 亀岡市の外傷の概要

亀岡市の外傷状況(2012年～2021年)

一般負傷と交通事故による外傷が多い

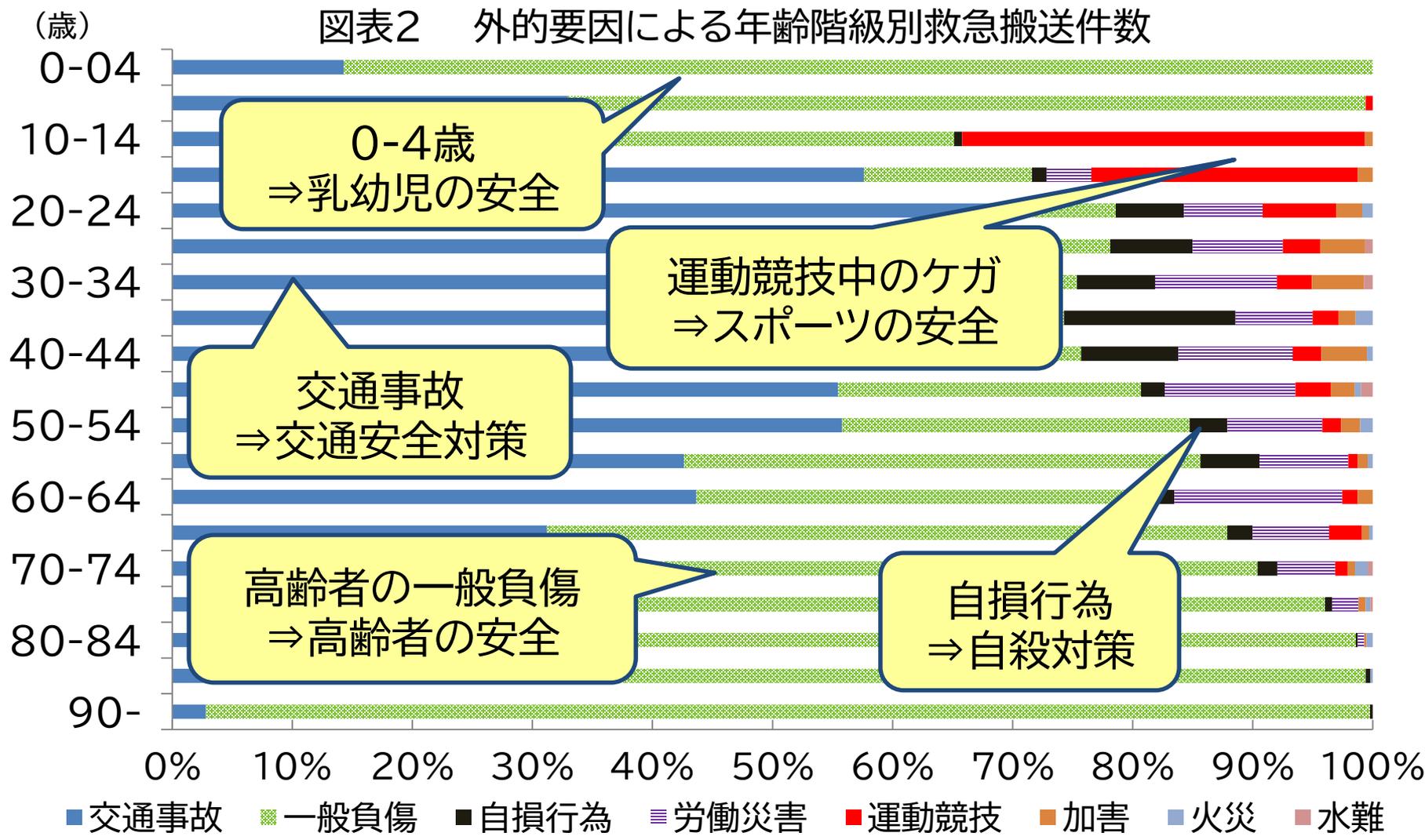
図表1 外的要因による救急搬送の推移



出典:救急搬送データ

亀岡市の外傷状況(2017年~2021年合計値)

救急搬送データからみた重点的な対策領域

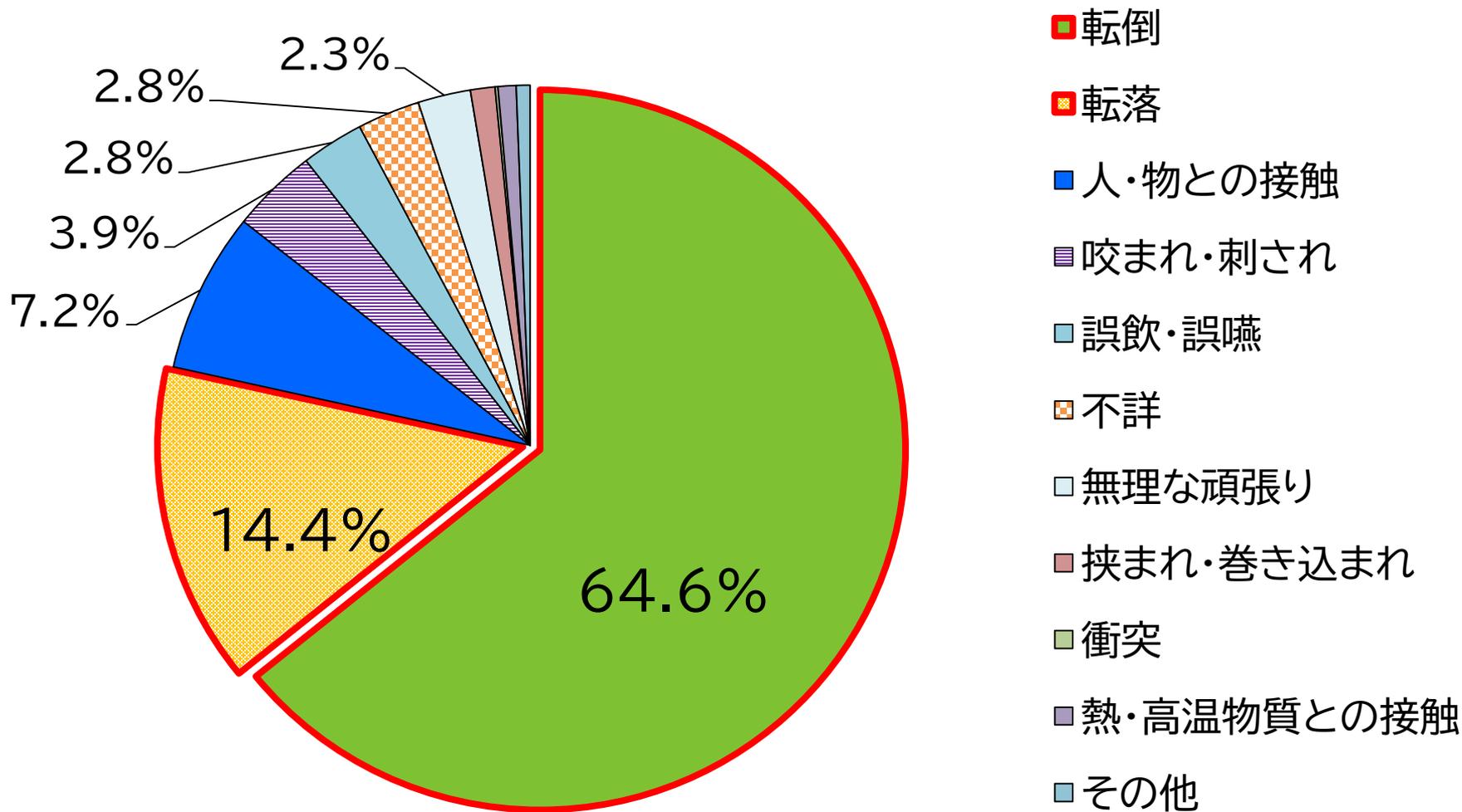


出典: 救急搬送データ(2017~2022合計値)

亀岡市の外傷状況(2017年～2021年合計値)

一般負傷は「転倒・転落」が約8割を占めている

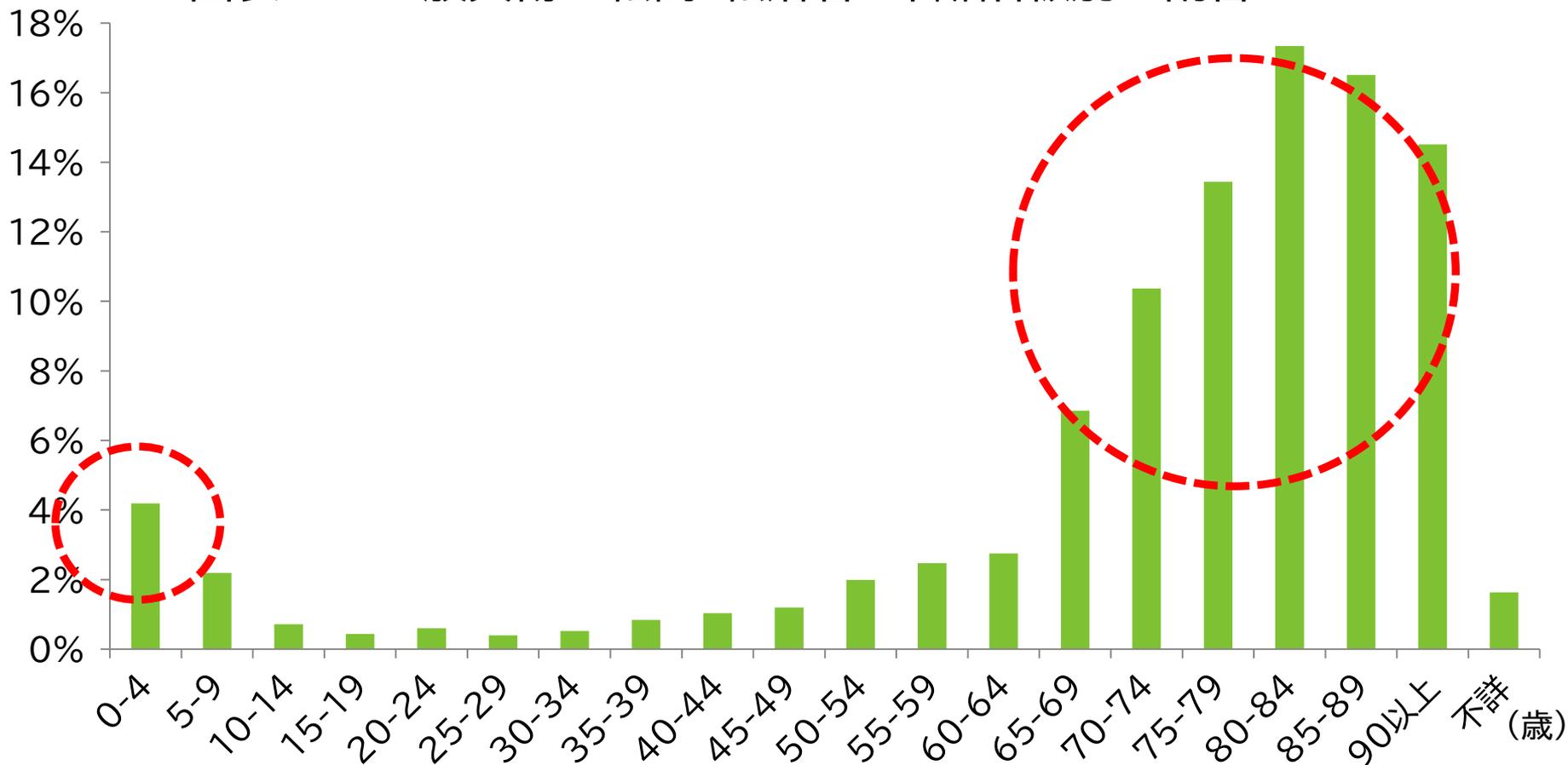
図表3 一般負傷の内訳



亀岡市の外傷状況(2017年～2021年合計値)

一般負傷のうち、転倒・転落は「0-4歳」「65歳以上」が多い

図表4 一般負傷の転倒・転落者 年齢階級別の割合



出典:救急搬送データ(2017～2021合計値)

人口動態統計に基づく
亀岡市の外傷による死亡・けが等の状況

亀岡市の外傷状況(2012～2020年)

図表5 死亡原因上位10項目(2012～2020年総数及び3箇年平均)

| | 死亡原因 | 死亡者総数 (名) | 構成比 | 2012～ 2014年 3か年平均(人) | 2015～ 2017年 3か年平均(人) | 2018～ 2020年 3か年平均(人) |
|----|--------------|--------------|-------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1 | 悪性新生物 | 2,250 | 29.8% | 244 | 255 | 251 |
| 2 | 心疾患(高血圧症を除く) | 1,301 | 17.2% | 132 | 148 | 154 |
| 3 | 脳血管疾患 | 668 | 8.8% | 75 | 70 | 77 |
| 4 | 肺炎 | 553 | 7.3% | 73 | 65 | 46 |
| 5 | その他の呼吸器系の疾患 | 427 | 5.6% | 43 | 51 | 48 |
| 6 | 老衰 | 412 | 5.4% | 47 | 55 | 69 |
| 7 | 不慮の事故 | 164 | 2.2% | 17 | 19 | 19 |
| 8 | 腎不全 | 147 | 1.9% | 19 | 13 | 17 |
| 9 | 自殺 | 129 | 1.7% | 17 | 12 | 14 |
| 10 | その他の消化器系の疾患 | 116 | 1.5% | 13 | 12 | 13 |

出典:人口動態統計(厚生労働省)

亀岡市の外傷等状況(2012～2020年合計値)

図表6 年齢階級別にみた外傷死亡原因(2012～2020年合計)

| 年齢階級 | 死亡者数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------|------|--------------|------------------------|-------------------------|-----------|-------------------------|
| 0-9歳 | 4名 | 交通事故 | 窒息 | | | |
| 10-19歳 | 2名 | 自殺 | | | | |
| 20-29歳 | 24名 | 自殺 | 溺死及び溺水 | 交通事故、転倒・転落、火災 その他の外因 | | |
| 30-39歳 | 32名 | 自殺 | 交通事故 | その他の不慮の事故 | 中毒、他殺 | |
| 40-49歳 | 31名 | 自殺 | その他の外因 その他の不慮の事故、中毒 | | | 交通事故、 転倒・転落 窒息、火災 |
| 50-59歳 | 31名 | 自殺 | その他の不慮の事故 | 交通事故、転倒・転落、窒息 | | |
| 60-69歳 | 43名 | 自殺 | その他の外因 | 交通事故 | その他の不慮の事故 | 溺死及び溺水 窒息、火災 |
| 70-79歳 | 63名 | 自殺 | その他の外因 | 交通事故 | その他の不慮の事故 | 転倒・転落 |
| 80-89歳 | 76名 | その他の不慮の事故 | その他の外因 | 転倒・転落 | 窒息 | 自殺 |
| 90歳以上 | 48名 | 窒息 その他の外因 | | 転倒・転落 | その他の不慮の事故 | 交通事故 |

出典：人口動態統計(厚生労働省)

亀岡市の外傷等状況(2012年～2020年)

図表7 不慮の事故・自殺等による死亡者数

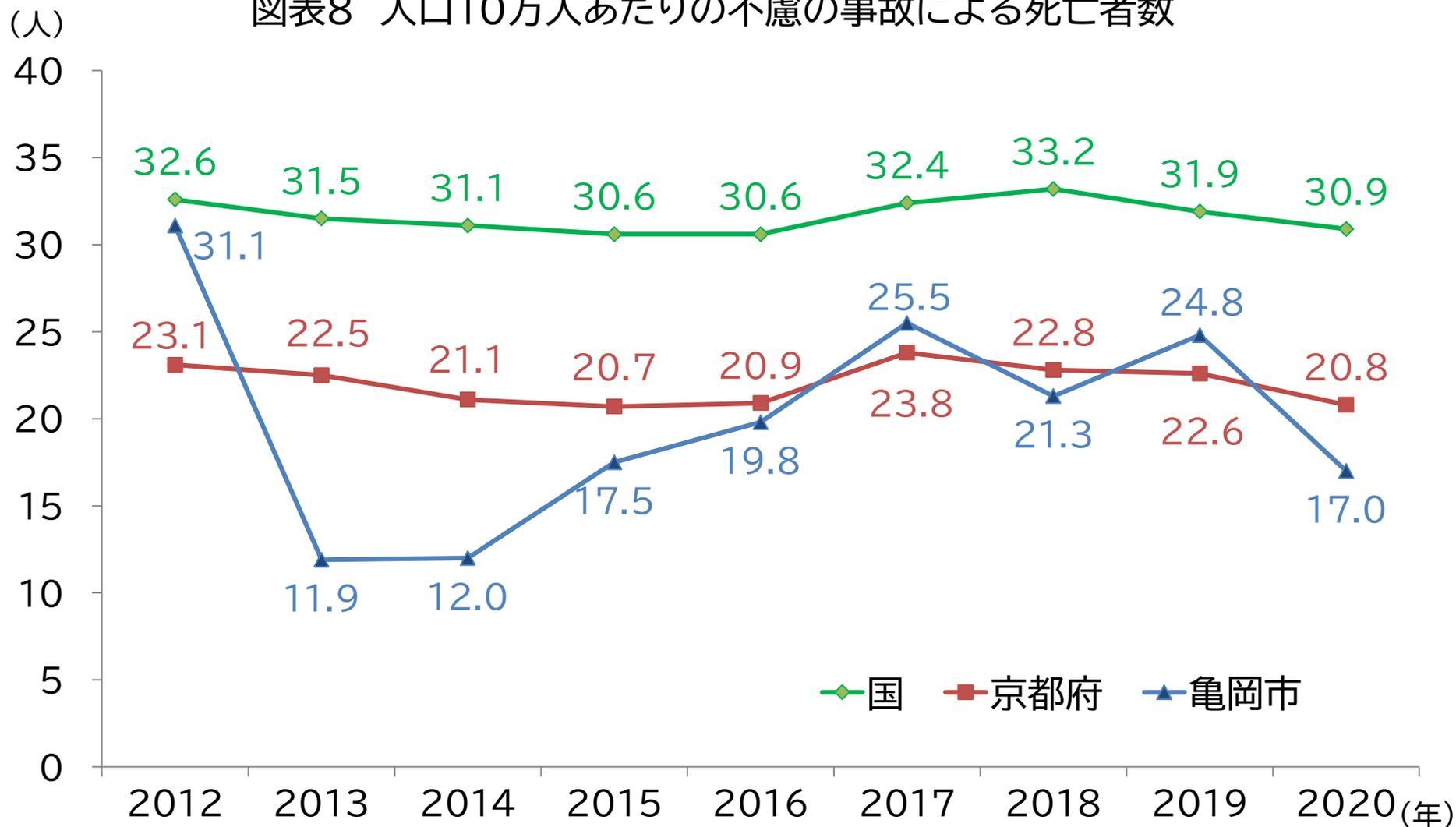
(人)

| | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 不慮の事故 | 29 | 11 | 11 | 16 | 18 | 23 | 19 | 22 | 15 |
| 交通事故 | 11 | 1 | 1 | 2 | 5 | 4 | 2 | 1 | 4 |
| 転倒・転落 | 5 | 5 | 2 | 2 | 0 | 6 | 5 | 5 | 6 |
| 溺死及び溺水 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 |
| 窒息 | 3 | 1 | 3 | 5 | 6 | 2 | 7 | 7 | 1 |
| 煙および火災への曝露 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 有害物質による中毒 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| その他の不慮の事故 | 7 | 2 | 3 | 6 | 6 | 10 | 3 | 7 | 3 |
| 自殺 | 15 | 16 | 20 | 18 | 8 | 11 | 8 | 14 | 19 |
| 他殺 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の外因 | 10 | 2 | 4 | 5 | 7 | 9 | 11 | 5 | 7 |
| 合計 | 54 | 30 | 35 | 39 | 33 | 43 | 38 | 41 | 41 |

出典:人口動態統計(厚生労働省)

亀岡市の死亡者状況(2012~2020年)

図表8 人口10万人あたりの不慮の事故による死亡者数



出典:人口動態統計(厚生労働省)

セーフコミュニティアンケート

アンケートの実施内容

時期 2022年2月
(前回 2016年7月)
対象 市民・市外在住者
年齢 全年齢
有効回答 617件(市内585件、市外32件)

男性:226名 女性:385名 その他:6名

※亀岡市公式LINE、Facebook、ホームページで広報

**セーフコミュニティ
アンケート実施中**

2月3日(木)～16日(水)



お持ちのスマートフォンのカメラ機能で
下の「QRコード」をズームしていただきますと
アクセスできます。



セーフコミュニティ活動を
よりよく展開していくために
ぜひ御協力をお願いします。
所要時間 約5分です

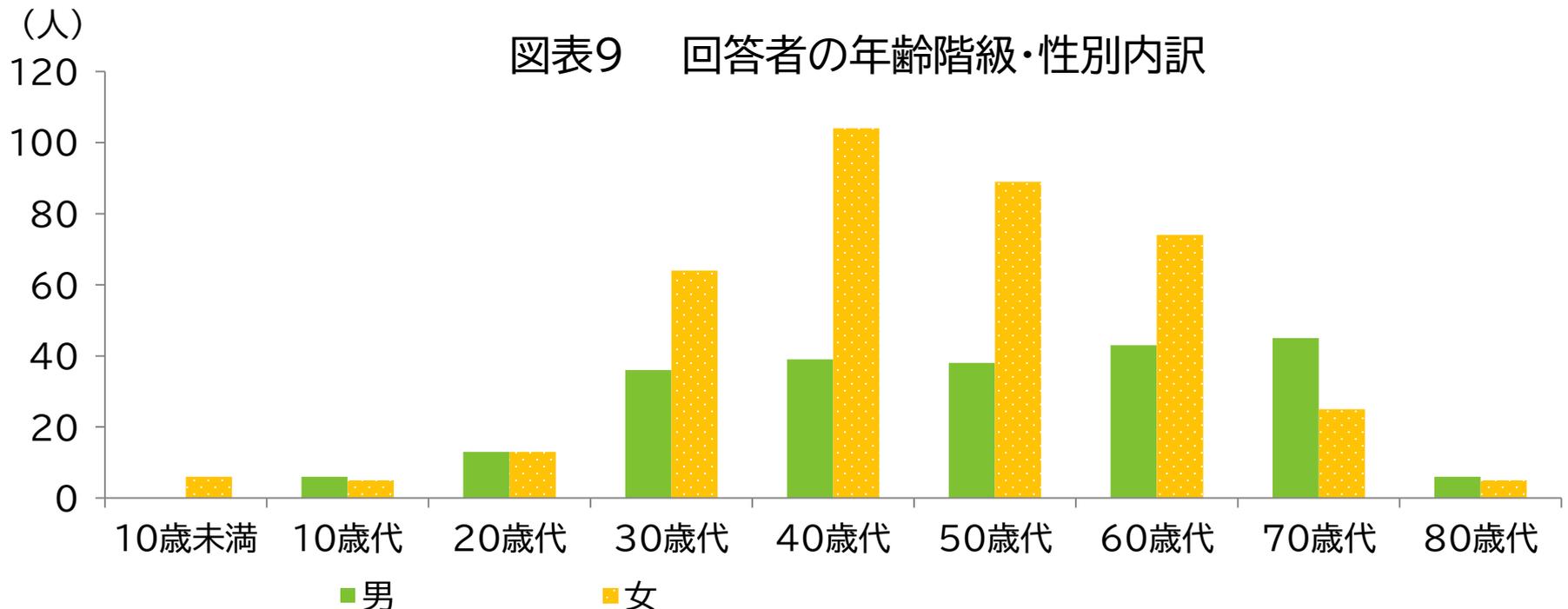
回答ページへアクセス

サーベイランス委員会が
アンケート内容の検討・分析を実施

セーフコミュニティアンケート

年齢 男性:①70歳代(19.9%) ②60歳代(19.0%)
階級 女性:①40歳代(27.0%) ②50歳代(23.1%)

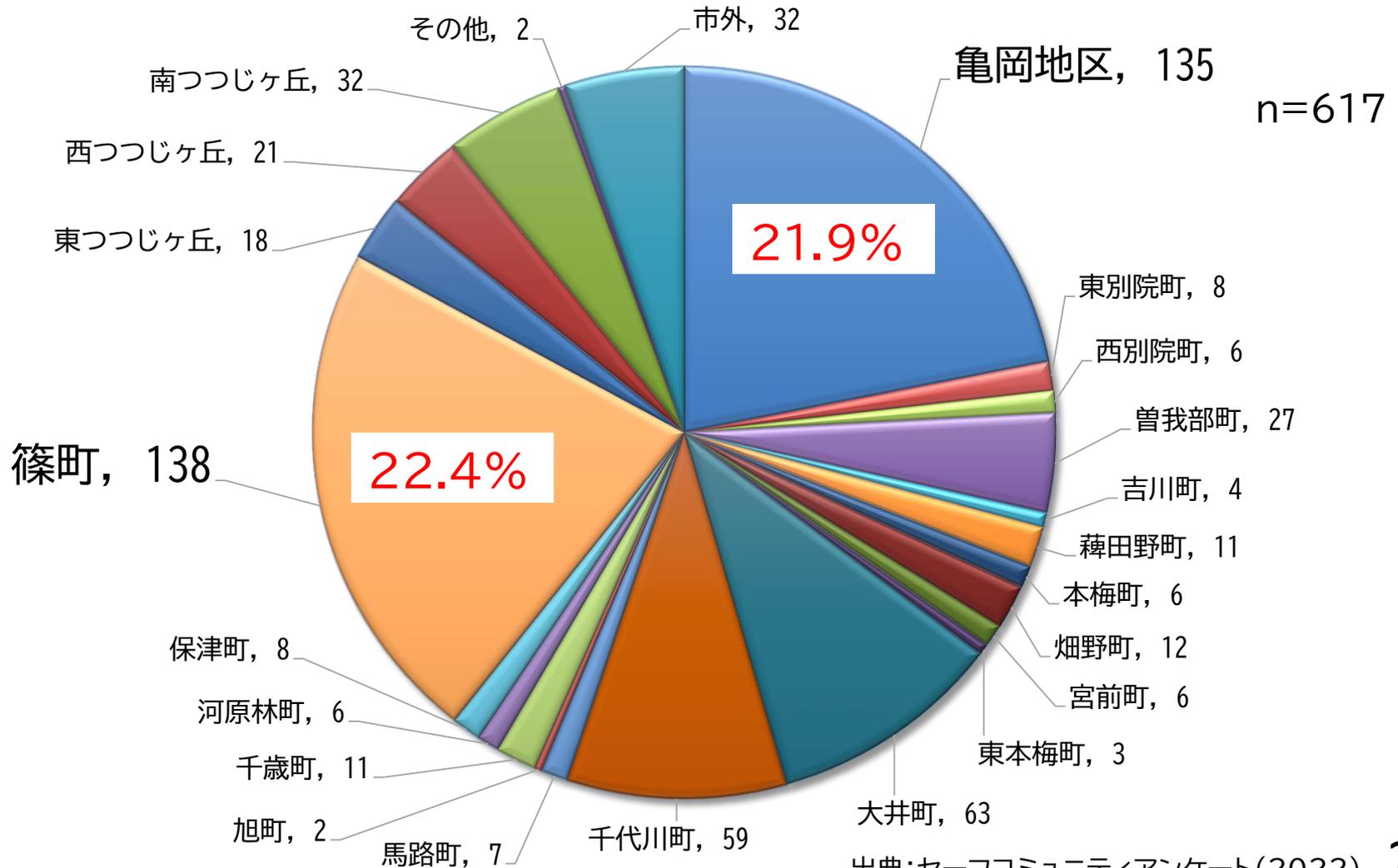
職業 男性:①公務員(28.8%) ②会社員(24.8%)
女性:①パート・アルバイト(30.6%)
②専業主婦(25.7%)



セーフコミュニティアンケート

セーフコミュニティ発祥の地区である篠町が最も多く回答

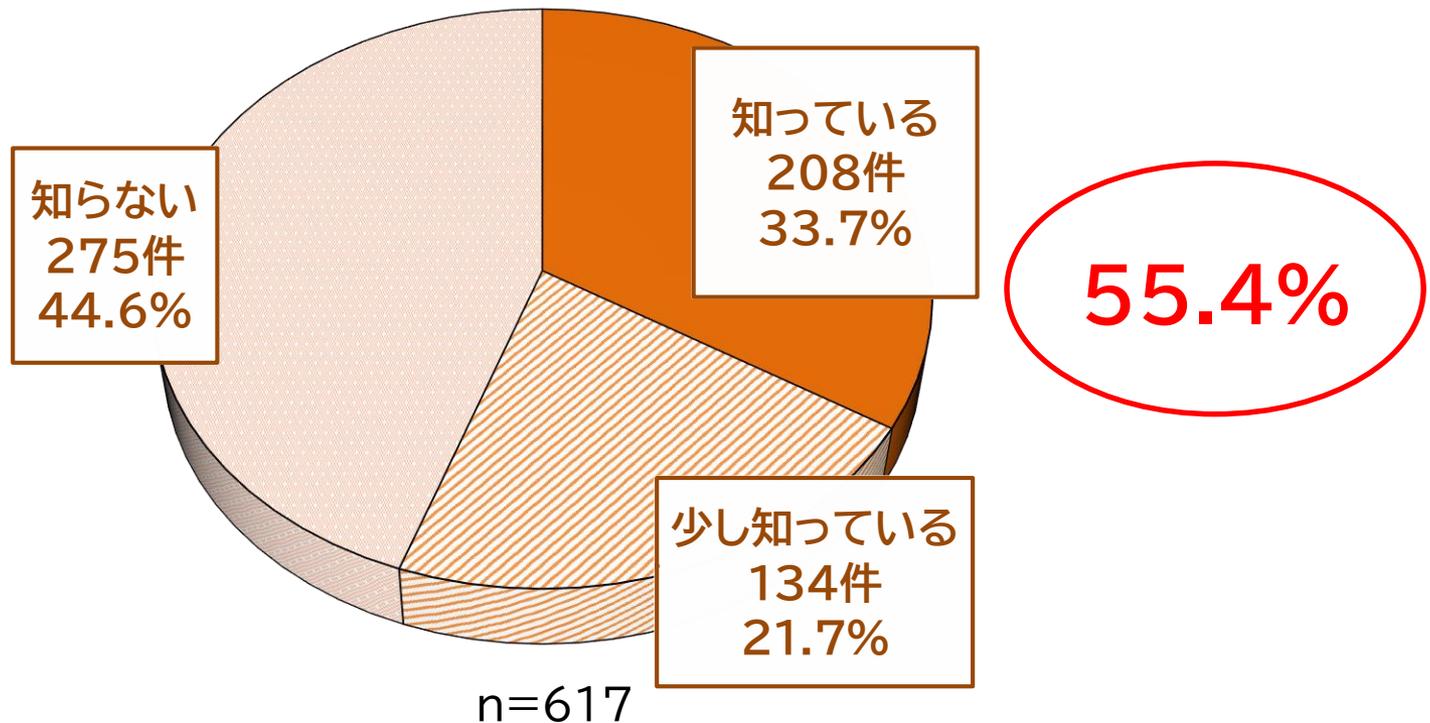
図表10 町別の回答割合



セーフコミュニティアンケート

回答者の**半分以上**がセーフコミュニティの取組を「知っている」「少し知っている」と回答

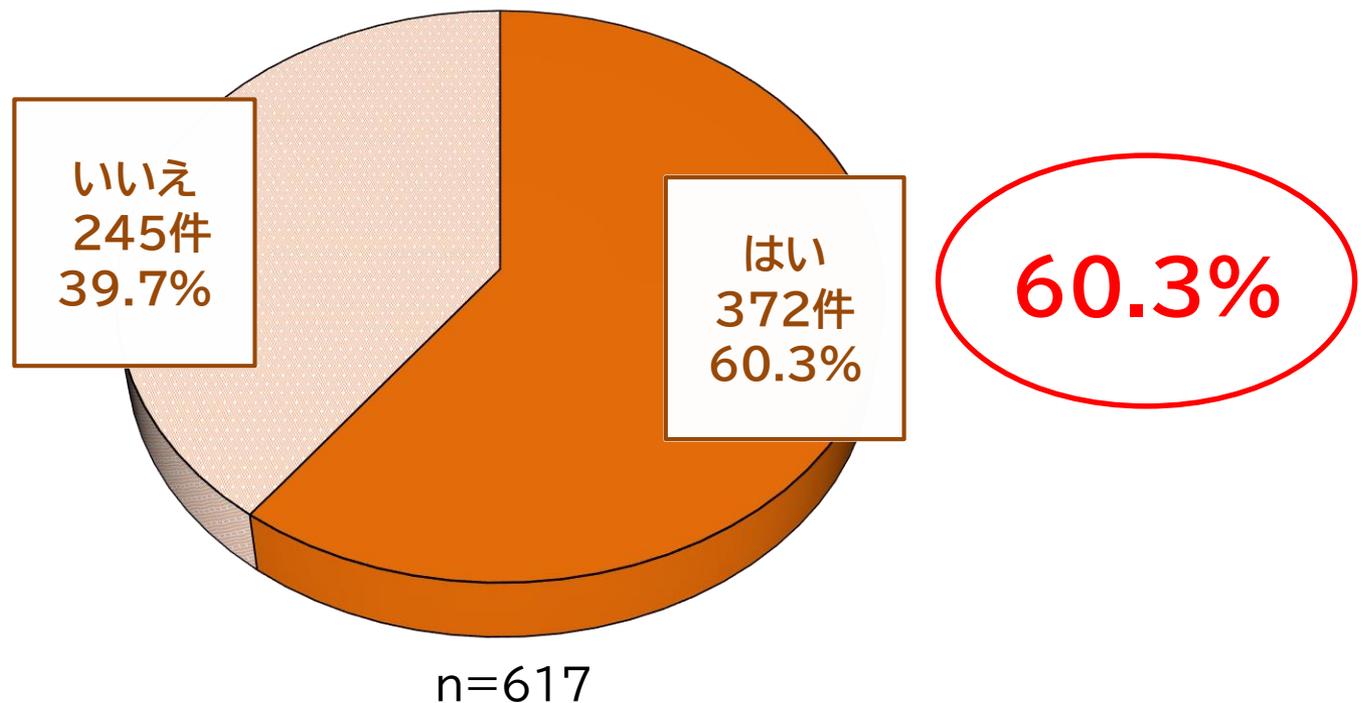
図表11 亀岡市はセーフコミュニティによる「安全安心なまちづくり」を推進していますが、あなたは、この取組を知っていましたか。



セーフコミュニティアンケート

回答者の**6割**が市内JR4駅に防犯カメラが設置されているかとの問いに「はい」と回答

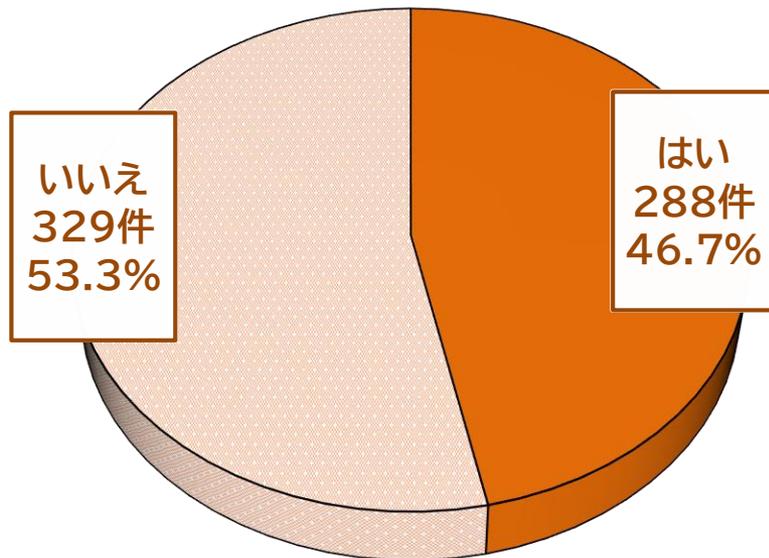
図表12 亀岡市内のJR4駅(馬堀駅・亀岡駅・並河駅・千代川駅)周辺に防犯カメラが設置されていることを知っていますか。



セーフコミュニティアンケート

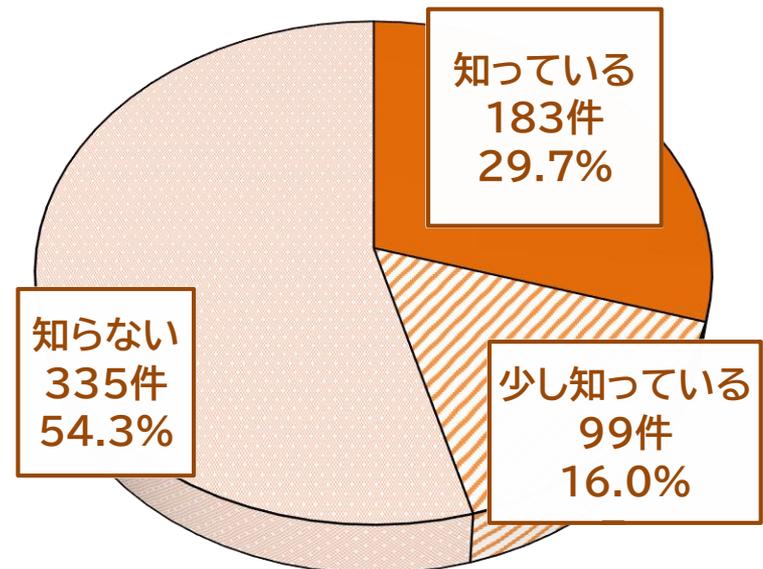
「かめおか『まち・レコ』プロジェクトと「ドライブレコーダー協定によるまちの見守り協定」の認知度はいずれも5割に届かず。さらなる広報が必要。

図表13 市民の方が自家用車等に設置している「ドライブレコーダー」を活用して町の見守りを行う「かめおか『まち・レコ』プロジェクト」を知っていますか。



n=617

図表14 ドライブレコーダーによるまちの見守り協定の取組を知っていますか。

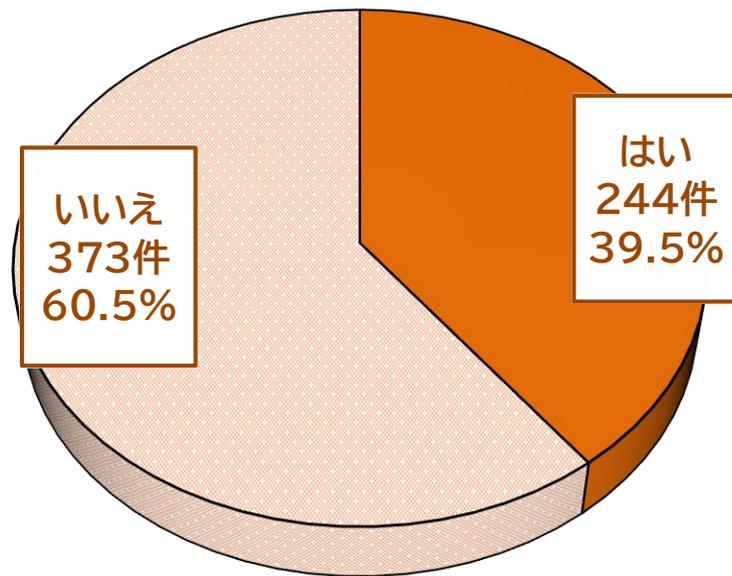


n=617

セーフコミュニティアンケート

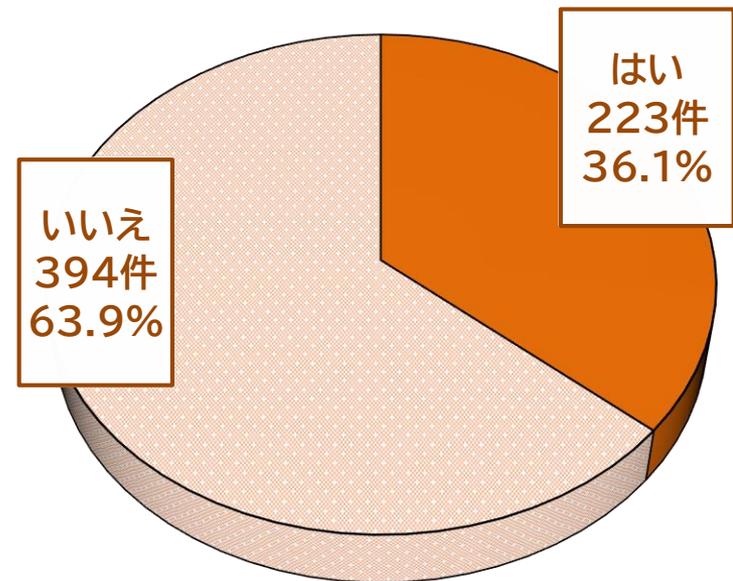
「かめおか『セーフティドライブ』プロジェクト」の認知度と
反射材の利用率も5割に届かず。さらなる広報が必要。

図表15 交通ルールを守り安全運転の輪を広げる「かめおか『セーフティドライブ』プロジェクト」を知っていますか。



n=617

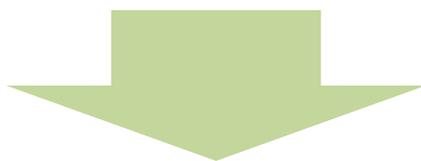
図表16 反射材やライトを身に付けて外出していますか。



n=617

セーフコミュニティアンケート 分析結果の活用

交通安全対策委員会のデータ活用事例



「セーフティドライブ」プロジェクト
2017年から市民参加型の取組を開始



シンボルマーク

防犯対策委員会のデータ活用事例



かめおか「まちレコ」プロジェクト

2017年から市民参加型の取組を開始



シンボルマーク

防犯対策委員会のデータ活用事例

亀岡市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定

2016年から事業者・亀岡警察署・亀岡市の三者による協定を開始

バス会社、タクシー会社、新聞会社、社会福祉法人、
電力会社、警備会社、宅配会社、建設会社等と協定締結



サーバイランス委員会設置の効果

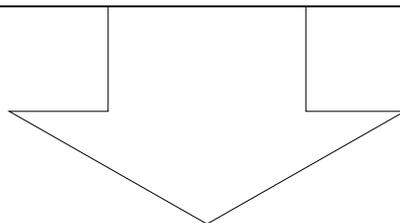
日本は外傷データを収集するシステムがないが、委員会を設けたことで、救急搬送データ等の収集・分析ができるようになった。

以前は市職員だけではできなかった統計データの分析などができるようになり、より効果的な取組みにつなげることが可能になった。

効果検証を行う組織として設置したことで、各対策委員会に外傷データ分析結果等のフィードバックを行えるようになった。

課題と今後の方向性

各対策委員会に加え、令和3年度に新規設置した防災対策委員会の課題に対する改善策や効果的な活動の分析



防犯・高齢・交通など他の対策委員会と連携協力した活動を提案する